上町しぜんの国

園だより ｜ 7月号 2023.7.12

天然シャワー（2023.6.28 宮本記）

園庭でのこと。小さい子が遊び終わったあと、やってきたＫちゃんとＫくん。２人で何かをして楽しそうなので近づいてみると、上からシャワーが！日よけシートの隙間を使って細い水が何本も落ちて来ていました。

「これ誰が考えたの？」

Ｋくん「Ｋちゃん！」

Ｋちゃん「Ｋちゃんがやったんだ〜」

去年、ペットボトルを使って上から水を出していたことはあったけれど、ここまで本物のシャワーに近いものは見たことがなかったかもしれない。

今日の朝の時点では「みずあそびやらなーい！」と言っていたＫくん。Ｋちゃんのアイディアでそんな気持ちも吹き飛んでしまったのかな。

7月の予定

子どもの声が聞こえてきたら

石上雄一朗

移り変わる季節の中で

梅雨が終わったような毎日が続いていますね。日本には四季があり、その移り変わりと同時に保育も移り変わっていきます。この暑さにより水遊びが活発になったり、日が長いからできることや、虫がいるから起こることもあります。今回はこの時期だからこそのエピソードをご紹介します。まずは、Hちゃんちの保育者、まゆみちゃん（及川さん）のエピソードです。

春先、蝶々やダンゴムシが現れ始めるとみんなよく捕まえていた。
散歩に行くとHはずーっと蝶々を全力で追いかけている。園庭のダンゴムシも1日中探して集めている日もあった。Mは部屋の中でも手にダンゴムシを乗せて這わせている。そのときから作りたいと思っていた虫の家を、6月になってようやく作ることができた。
及川「今日は絶対蝶々捕まえたいな！」
K「K　つかまえるのめっちゃじょうずだよ！」
緑地に向かいながら目を輝かせてKが言う。その背中には、一緒に作った虫あみがささっている。(紙のくるくる棒で輪っかと棒を作り、それに小さいビニールを付けたもの)
私は卵パックで作った虫かごを首に下げていた。
Tは大きめの虫を捕まえるのが上手なようだ。ショウリョウバッタやキリギリスを手で捕まえていた。
T「こういうのいちばんうまいから」
T.M.「T.M.のだんごむし〜」
T.M.は小さな石も全部ダンゴムシに見えるくらい好きなようだけど、自分では触れず取ってくれとせがむ。T.I.は家から昆虫の本を持ってきて、それを散歩にも持っていき「おしえてあげようか？」と、T.M.や私に何度も見せてくれた。家で食べたスイカの皮も持って来て「ばったたべるんだよ」と朝会って開口一番に話してもくれた。いつもお家の人と離れ難そうなT.I.が、お母さんには目もくれずスイカの皮にバッタを乗せていた。
その時、“昨日の続き”があるってやっぱり大事なんだな、と実感した。やっぱりもっと早く作れば良かったな。

新年度、ユニットの“わたしたち感”をどう作っていくかを考えたとき、みんなが捕まえてきた虫を部屋で飼うのはどうだろう？とふと思っていた。みんなで散歩に行き、どこにいるだろう？と探し、ようやく捕まえて連れ帰った蝶々が虫の家に移すとき逃げてしまい、どうしたら天井から降りてくるか、
K「これ(紫陽花)持って立ってたらいいんじゃない？」
みんなでまたどうにかこうにか捕まえられてホッとしたこととか、そういうものの蓄積が目に見える形になってそこにある。
「なまえつけたらいいんじゃない？」と最初に言ったのは、T.K.だった。
大きいバッタの「まにーちゃん」は、T.K.の命名だ。それを聞いて、K.U.は自分が捕まえたダンゴムシに「まこちゃん」という名前を付けた。
「Kのバッタは『K』がいい」登園すると一緒にバッタの『K』の様子を見るようになった。
れい「あーん　このカマキリかわいい」
れいちゃんがiPadでいろいろな虫の写真を探しながら、語尾にハートマークが付いているような声でそうつぶやいた。虫のパズルを作っている。カマキリにも他の虫にも、これまで“かわいい”なんて気持ちを持ったことのない私は思わず「すごいねぇ、かわいいって思えるの」と言ったが、今ちょっとずつ愛着が湧きつつある。
この夏、カブトムシ捕まえたいなぁ。
(2023.6.17及川記「Hちゃんちの虫の家」より)

この季節だからこそダンゴムシやバッタが子どもたちの前に現れてくれる。そしてその虫に夢中な子どもたち。その夢中な子どもたちと一緒になって面白がっている大人たち。虫の家を作ってみたら心も動く。そんなワチャワチャとした毎日の中でわたしたち感がうまれてくる。虫って偉大だな〜と感じます。
次は大きい子担当のめいちゃん（江口）のエピソードです。

2番目のミーティングが終わる。「いすかたづけよー」と声をかける。
Mが椅子に座り、動かない。ゆきちゃんがごはんたべるー？と声をかけるも動かない。Mに見つめられた気がする。下唇を噛むM。

「M、なんか話したいことあった？」
コクン、と頷くM。
なるほど、まだ言いたいことがあったんだ。Mの中ではまだミーティングが終わってなかったんだ。
「何話したかったの？」
「あのね、こっちが2で、こっちが3で、ケンカしたことあるの」
さっき1対1で喧嘩するとか、そんな喧嘩の話をしていたから、Mはその話がしたかったようだ。右手を3、左手を2にして、その手を見つめながらMが話す。
「そうなんだ。Mはどっちだったの？」
「こっち」
3の手を上に上げる。
「そうだったんだ」
うん、と頷くM。それでおしまいだった。

あの時のMを見て、なんで私はMまだ話したいのかな？と思ったのかと書きながら思う。まだ話したいことがある、と動かないMに私はガツンと何かを打たれた。ああ、まだ話したかったんだ。Mの中ではまだ終わってなかったんだ。Mのように自分の中ではまだ終わらない人もいる。そんな姿や声に敏感でありたい。
(2023.6.13江口記「動かないM」より)

子どもも季節の移り変わりの中で暮らしています。わたしたちは6月からを「開放安定期」と呼んでいます。季節とともに、一緒に過ごした時間とともに開放され、安定に繋がっていくということです。Mにとってミーティングが自分の場所になってきたのでしょう。そして声を出してみた。それがこの場面だったように感じます。ミーティングはミーティングだけでは終わりません。このように暮らしに繋がっていくのです。

上町しぜんの国のキッチンより

流しそうめんの季節がやってきた！

七夕の日のお昼ごはんに、流しそうめんをしました。

流れてくるそうめんやトマトを真剣に狙ってすくっていくこどもたち。
そうめんを流す役をやっている子や、受けざるにたまっていくそうめんを堪能する子たちも。
わいわいと盛り上がりました！
お部屋で食べていた小さい子たちも、にぎやかな雰囲気のなかで、そうめんだけでなく、おにぎりやとうもろこしもたくさん食べていました。

こどももおとなも食欲が落ちてきがちなこの季節。
7月は、暑い中でも食べやすい、食欲が湧きそうなメニューを中心とした献立にしました。
献立内容だけでなく、みんなでわいわい、楽しい雰囲気の中での食事は、食欲が湧いてくるなあ、と感じました。
暑いからこそできること、今だからおいしいものを楽しんで、暑い夏を元気に乗り切れたらと思います。

– キッチン　久保田

作ってみたい！ 食べてみたい！
Recipi of Kamimachi
カミマチノレシピ

冷や汁

【材料】大人２人　子ども２人分
- □ あじの干物（ツナ、さば缶などでも）：１尾分
- □ 豆腐：1/2 丁
- □ きゅうり：１本
- □ しそ、しょうが、みょうがなど：お好みで
- □ すりごま（ごま油ひとまわしでも）：小さじ２
- □ みそ：大さじ３
- □ 冷たいだし汁：400ml　　□ ごはん：適量

【作り方】
① あじを焼き、頭や骨、皮をのぞき、身をほぐす。
② 豆腐は粗くほぐし、水気を切る。
③ きゅうりは小口切り、薬味は好みの大きさに刻む。
④ すりごま、みそをだし汁でとかし、①～③の具を加える。
⑤ ごはんにかけていただく。
※そうめんやうどんの汁にするのもおすすめです！

保健だより

先月はヘルパンギーナ、RS、溶連菌感染症と、多様な感染症が園内で出ました。
全国的にも多様な感染症に罹った子どもたちの対応で小児科が逼迫している、というニュースもありますね。

◆ヘルパンギーナはいわゆる夏風邪で、発熱、喉の痛み、口腔内に水疱ができ潰瘍になったりするため痛くて食事が摂れなかったり食欲が落ちたりします。高熱で食べたり飲んだりできなくなると脱水を起こしたりすることがあるので小さい子どもは注意が必要です。
◆ RS は発熱、鼻水、咳など軽い風邪のような症状が出ます。重症化すると気管支炎や肺炎の兆候が見られ中には呼吸困難になることもあります。こちらも小さい子どもは夜間の呼吸状態などに注意が必要です。
◆溶連菌感染症は喉の痛みがあり、鼻水や咳などの風邪症状があまり見られずに発熱します。急性腎炎やリウマチ熱、血管性紫斑病、中耳炎、気管支炎など合併症を引き起こすなど重症化してしまう危険性もあるので処方された抗生剤は全て飲み切ることが重要です。逆に、診断がつき、お薬を飲めばきちんと治る病気です。

他にも、診断はされていないけれど高熱が続くような子どもが何名かおり、一回熱が引いてまたぶり返している感じの子もいます。
子どもたちはコロナ禍の免疫を取り戻すかのように様々な感染症に罹っていっているような感じがします。引き続き、発熱した場合は次の登園前までに受診をお願いしたいと思います。（検査などがある場合は、発熱して少し経ってから行く方が結果が明確にわかるかなと思います。）
また、手足口病、ヘルパンギーナ、突発性発疹など、後々になって診断名がわかるものもあります。お手数ですがその場合も、診断名がついたらユニットの大人か通山の方まで伝えていただけると助かります。

夏の本番はこれからです。今後も熱中症には十分に注意しながら子どもと一緒に過ごしていきたいと思います。

– 看護師　通山

◎感染症状況（６月分）：ヘルパンギーナ４名、RS５名、溶連菌感染症３名、
咽頭結膜熱（アデノウィルス感染症）４名

職員の声

私は食べることが大好きで、特に甘いものに目がなく…
疲れたりストレスが溜まるとついつい食べすぎてしまいます…でもこれではダメだ!!ということで、運動を始めました。20分くらい軽くエクササイズする程度ですが…するとびっくり!ストレス発散になったのか食欲もおさえられていいことばっかり♡身体を動かすって、大切ですね〜〜〜
ごとう
みほこ

『6月はバタバタ月間!!』
6月はなかなか激しい1ヵ月でした。
娘の入院でボロボロになり、
長男は学校からの電話、
次男はイヤイヤの真最中です。
さて、今月はどうなるかな。
いっしー

りたちゃんちのよっしーです。
ここ最近、「油そば」にはまっています。色んなお店を食べ歩いていますが、そんなに大きな差がない。でもその中の小さな味やトッピングの変化を楽しんでいます。オススメのお店あれば教えてくださ

ホットヨガに通って7.8年。
日々の雑事でいっぱいの頭を空っぽにして、心と体をリセットするのに欠かせない習慣です。
しかし、体は1mmも柔らかくならず、開脚は90°のまま…。でもこの仕事につきものの腰痛にならずにいられるのは、Yogaのおかげかな?
まっきー(新垣)